

報道機関各位

青森県こども家庭部県民活躍推進課

「令和7年度前向きに生きる力を育むふれあいミーティング」の開催について
 （青森県立大湊高等学校、青森県立十和田工業高等学校）

県では、仲間や地域住民との対話を通じて、自己や他者を肯定的に受容する心を醸成するとともに、地域全体で子どもたちを見守る環境づくりを進めています。

この事業の一環として、子どもたちが未来に向かって前向きに生きる力を育むことを目的に「前向きに生きる力を育むふれあいミーティング」を県内の中学校及び高等学校（全6校）で実施することとしており、このほど、青森県立大湊高等学校、青森県立十和田工業高等学校において、下記のとおり実施することになりましたので、お知らせします。

つきましては、広く県民に周知するため、取材について、よろしくお願いします。

記

1 実施概要

実施校	実施日時	実施場所	参加者	コーディネーター・特別講師
青森県立 大湊高等学校	令和7年 11月26日(水) 13:25～15:15	第1体育館	大湊高等学校 1学年89名 地域住民14名 青森大学学生 14名(予定)	コーディネーター 船木 昭夫 氏 (青森大学社会学部教授)
青森県立 十和田工業 高等学校	令和7年 12月4日(木) 14:05～15:30	第1体育館	十和田工業高等学校 2学年129名 地域住民20名 (予定) 八戸学院大学学生 20名(予定)	特別講師 中島 美華 氏 (フリーリポーター)

2 内 容

中学生（高校生）、地域住民及び大学生で1グループ7人程度のグループを作り、「思いやりの大切さ」について一緒に考えるワークショップを行う。

3 そ の 他

参考資料 令和7年度前向きに生きる力を育むふれあいミーティングについて

報道機関用提供資料		
担 当 課	こども家庭部 県民活躍推進課	
担 当 者	青少年グループ GM 櫻庭 知美	
電話番号	直 通	017-734-9226
	内 線	4372
報 道 監	こども家庭部 次長 大山 和也	

令和7年度 前向きに生きる力を育むふれあいミーティングについて

1 目的

ふれあいミーティングの実施により、仲間や地域住民との対話を通じて、自己や他者を肯定的に受容する心を醸成するとともに、地域全体で子どもを見守る環境づくりを進め、子どもたちが未来に向かって前向きに生きる力を育む。

2 主催

青森県

3 テーマ

「思いやり」、「生命の大切さ」

4 実施校及び実施日時

(1) 中学校

地区	学 校 名	日 時
東青	青森市立南中学校	8月25日(月) 13:45~15:00
中南	大鰐町立大鰐中学校	8月28日(木) 13:30~14:45
西北	中泊町立中里中学校	9月29日(月) 13:25~14:40

(2) 高等学校

地区	学 校 名	日 時
上北	青森県立十和田工業高等学校	12月4日(木) 14:05~15:30
下北	青森県立大湊高等学校	11月26日(水) 13:25~15:15
三八	青森県立三戸高等学校	9月30日(火) 14:10~16:00

5 コーディネーター

坂本 徹 氏 (特定非営利活動法人 日本人財発掘育成協会 理事長)

平間 恵美 氏 (特定非営利活動法人 はちのへ未来ネット 代表理事)

(青森県教育委員会 教育委員)

船木 昭夫 氏 (青森大学社会学部 教授)

渡部 靖之 氏 (青森県総合社会教育センター指定管理者
学び・生かすあおもりグループ 事務局長)

間山 浩樹 (青森県子ども家庭部県民活躍推進課 主幹)

6 特別講師

中島 美華 氏 (フリーリポーター)

7 実施方法

円形小グループのワークショップ形式

生徒に地域住民及び大学生を加えた8人程度のグループをつくり、ワークショップを行う。グループ内でテーマについて一緒に考え、意見を伝え合う。当日の進行はコーディネーター又は特別講師が行う。また、グループのファシリテーターは大学生が行う。

【進行イメージ(75分間を想定)】

① 開会(1分)

② アイスブレイク(9分)

③ ワークショップ(50分) (「思いやり」又は「命の大切さ」のワークショップ)

④ アンケート記入(10分)

⑤ 閉会(5分)

全体75分